

飯田自然エネルギー大学

第5期生

受講生 募集

募集
開始

募集期間

2024年5月20日(月)~8月16日(金)

募集定員 20人

※受講生の年齢、経歴、居住地は不問。
※10~20代対象の『若者優先枠』4人含む。

地域主体の再生可能エネルギー事業、地域新電力など、
エネルギーマネジメントの実践者を育成する学びの場です。
地域発のカーボンニュートラル、持続可能な地域づくりを目指します。

開講期間

2024年10月~2025年9月(全10回)

授業開始

2024年10月5日(土)・6日(日)

主会場

おひさま進歩エネルギー株式会社

長野県飯田市鼎下茶屋2242-2

※会場での対面もしくはオンライン受講

講師(予定)

諸 富 徹 (京都大学大学院経済学研究科 教授)
高 橋 洋 (法政大学社会学部社会政策科学科 教授)
川又孝太郎 (環境省地球環境局 国際連携課長)
木 村 啓 二 (大阪産業大学経済学部 准教授)
中 島 大 (全国小水力利用推進協議会 事務局長)
相川高信 ((公財)自然エネルギー財団 上級研究員)
竹濱朝美 (立命館大学産業社会学部 教授)
稲垣憲治 ((一社)ローカルグッド創成支援機構 事務局長)
安 田 陽 (ストラスクライド大学電子電気工学科 アカデミックビジター)
ラウパッサスミヤ・ヨーク (立命館大学経営学部 教授)
千葉恒久 (五反田法律事務所 弁護士)
山下紀明 (認定NPO法人環境エネルギー政策研究所 主任研究員)
竹ヶ原啓介 (日本政策投資銀行 設備投資研究所長)
榎原友樹 (E-konzal 代表取締役)

※このほか、再エネ事業、地域新電力のプレイヤーによるトークセッション開催

▶カリキュラム

監修：諸 富 徹 教授 (京都大学大学院経済学研究科/本大学学長)
おひさま進歩エネルギー株式会社 (長野県飯田市)

- 講師陣は再エネ研究者や事業者、金融や法律などのプロフェッショナル
- 講義やトークセッション、事業計画作成の演習など全10回のカリキュラム
- 受講は会場、オンラインを選択 (第1回、事例研究、最終回はオンライン不可)

▶授業編成

- [授業回数]** 全10回 (原則、1回につき2日間、土日開催)
講義とトークセッション、事例研究、事業計画づくりで構成
- [講師陣]** エネルギー政策研究者、金融・法律等の専門家、エネルギー事業者
- [事例研究]** グループワークで事業構想を分析、事業計画案を仕上げます (2泊3日開催)
- [最終授業]** 受講生の事業計画発表会 (個人またはグループ)
- [オプション]** 再エネ事業現場を訪ねるフィールドワーク (2回開催、希望者のみ)

■お問い合わせ 一般社団法人 飯田自然エネルギー大学

長野県飯田市鼎下茶屋2242-2 (飯田商工会議所鼎支所1F)
電話 0265-56-3713 / FAX 0265-56-3712
メール support@enedai.jp



募集期間 2024年5月20日(月)~8月16日(金) 募集定員 20人

※受講生の年齢、経歴、居住地は不問。
※10~20代対象の「若者優先枠」4人含む。

募集条件

- ①地域の住民や事業者を事業主体とする再生可能エネルギー事業、または地域新電力など地域のエネルギーマネジメントに取り組む意志があること
- ②原則、全プログラムに出席可能なこと(会場またはオンライン受講)
- ③講師から授業前に出題されるレポートを提出すること(9回分)

応募方法

応募用紙とレポート2点を、電子メールにて提出してください

- ①応募用紙 ※所定の用紙に必要事項を記入
- ②レポート I (文字数1500~3000字以内) ※図表は使用可。ただし文字数には含まない

再生可能エネルギー事業はFITからFIPへの移行、自治体による立地規制の強化、近隣住民への説明義務化、出力制御の拡大、事業費用の高騰など、以前に比べるとより難しい事業環境に直面するようになっていきます。他方、再エネの可能性をさらに拡大する、様々な新しいトレンド、技術、事業モデルも現れてきています。

あなたが、再エネ事業をこれから始めると仮定して、まず再エネ事業をめぐる客観的な情勢(政策を含む)をどう認識しているか整理したうえで、それを乗り越えて再エネ事業をさらに普及するための課題を記述してください。

- ③レポート II 「将来の抱負」(文字数800字以内)
修了後の展望をまとめてください。

選考方法

学長、審査委員による選考

選考結果の通知

9月6日(金)以降、すべての応募者に通知

応募書類の提出先

一般社団法人 飯田自然エネルギー大学 事務局

〒395-0802 長野県飯田市鼎下茶屋2242-2 メール: support@enedai.jp / 担当: 伊藤・菅沼

飯田自然エネルギー大学〈第5期〉案内

受講料・費用等

受講料	10万円 ※入学時に全額納付
交通・宿泊費	受講生が各自負担
課題テキスト	課題レポートでテキストが指定された場合、購入希望者は各自負担
受講料の補助 および 奨学金給付	●長野県飯田市および下伊那郡在住者は、飯田まちづくり電力(株)による受講料補助(1人につき1万円)が適用されます。 ●学生の方は修了後、奨学金を1人につき3万円給付します。

第4期生の感想・メッセージより (一部抜粋)

- 様々な講師の方から、経験豊富で説得力のある貴重なお話ばかりで、さらに再エネに対する関心が増すばかりで、ワクワクする内容でした。(長野 家電販売店会社員)
- 行政職員という立場で参加させてもらい、省エネ、再エネを取り巻く世界的な動きから具体的な事業の事例まで幅広く学ぶことができました。(愛知県 自治体職員)
- 電力を学びたい方だけでなく、環境問題や地域づくりなど、社会課題に興味のある方、携わっている方にもお勧めです。日本と世界の電力事業の現状と課題を深く知ることができ、それらが社会課題に密接に関わっていることも分かり、自分が何をすればよいかの道標となります。(愛知県 地域新電力会社社員)
- エネルギーって、誰もが当事者。学んで、わいわい話して、繋がって、未来と一緒に変えていきませんか?(長野県 議会議員)
- 悩んだ時に原点に帰る場所ができたことに感謝。(東京都 NPO団体代表)